

【第二種郵便物認可】

# 北関東 異能ベンチャー

## デオ・プラス



吉田社長

### 《企業概要》

- ▽設立 2007年1月
- ▽資本金 500万円
- ▽従業員 3人
- ▽売上高 約3500万円 (2013年12月期)
- ▽本社所在地 群馬県高崎市浜尻町586の3
- ▽事業概要 脱臭サービス、脱臭装置設計など



顧客の相談に応じて独自の脱臭装置を導入する「脱臭の専門家集団」だ

# 低コストで確実に脱臭

飲食店や工場、病院などで発生する嫌な臭い。その臭いの強さや種類などを分析し、最適な脱臭方法を提案するのがデオ・プラス(群馬県高崎市、吉田正社長)。

悩みに応じて独自の脱臭装置を導入する「脱臭の専門家集団」だ。

同社ではまず、臭気判定士の資格を持つ吉田社長が施設を訪問して調査を行う。脱臭装置の状況や臭気調査のほか、周辺住民からのクレームなどを把握する。協力関係にあるメーカーとオーダーメイドの脱臭装置を設計・製造・施工する。

飲食店、病院、ホテルや工場など100件弱の施工経験を持つ。

脱臭装置を手掛けるメーカーにはオゾン脱臭や活性炭、植物精油など得意とする脱臭方法があるが「自社の得意分野で脱臭装置を提案し(吉田社長)だ」という。また、投資やランニングコストが高くなってしまう。

確かに脱臭できるよう、た上でコストを抑える必要以上の設備を導入し、顧客の満足度を最大にできる。

昨年、首都圏のある焼肉店で難題を解決した。その後、脱臭装置(前橋支局 島本雄太)

同社の強みは「過度な設備にしないこと」と吉田社長は胸を張る。問題を分析した上で、チームで脱臭方法を検討し、装置を製作する。「確実に脱臭し、実際に脱臭したガスと臭いを別々に脱臭しており、臭いが強いロースターのガスを脱臭しきれなかった。2つを統合することで臭いの濃度を均等に、活性炭を2層式にすることで脱臭が成功した。

吉田社長は大学卒業後、群馬県内の燃料販売会社に就職した。しかし父親の介護を経験したことをきっかけに、「脱臭の関連の仕事に関心を持った」。その後、脱臭装置(前橋支局 島本雄太)メーカーに転職して技術を取得した。経験を生かして現在のビジネスモデルを構築し、2007年に51歳で起業した。

起業後に経験が豊富な専門家をデオ・プラスの技術顧問として招き入れ、規模の大小や臭いの原因にかかわらず最適な脱臭方法を提案できる体制を整えた。

今年は臭いを燃やして脱臭するほど高濃度の臭気が発生する工場にも営業を始めた。石油価格の高騰でランニングコストが経営を圧迫するなか、吉田社長は「いかに安く確実に脱臭できるかが腕の見せどころ」と力を込める。

# 北関東

支局 水戸 0269-2221-32683  
つくば 0299-8522-103445  
宇都宮 0278-6222-117445  
前橋 0278-2223-311415